

令和7年度職員採用試験（大学卒業程度）
建築 専門記述試験

＝ 課 題 ＝

○より良い公共建築の実現に向けて

行政、教育文化、福祉等様々な分野に係わる各種の公共建築は、地域の人々の生活に密接な関わりを持ち、地域の活性化、生活・文化水準の向上、街並み・景観の形成等を図る上で重要な役割を果たしています。

また、国は11月11日を「公共建築の日」、11月を「公共建築月間」※¹と定め、国、地方公共団体及び関係団体等が幅広く協力するとともに、広く一般の方々にも関心を持っていただきながら、より一層、生活に密着した「より良い公共建築」を目指すため、例年11月に全国各地で様々なイベントが開催されています。

広島県においても、「より良い公共建築」の実現に向けて、広島型建築プロポーザル方式※²による設計者選定を積極的に実施するとともに、公共建築の建物見学会を開催するなど、県内外の方々に公共建築に親しみ、その役割や価値について理解を深めてもらえるよう取り組んでいるところです。

一方で、近年、公共建築工事の発注者には、①国（県）民からの求めに応じた過不足のない公共建築としての適切な品質を確保すること、②国等の政策を公共建築工事に反映すること、③国（県）民に対する説明責任を果たすことが求められており※³、一般の方々の関心を更に高めていくことが必要となっています。

そこで、「より良い公共建築」の整備や利用者に関心を持ってもらうために、今後進めるべき取組について、あなたの考えを述べなさい。

※1 11月11日は、建築の基本的な構造である4本の柱をイメージしていることに由来しており、また国会議事堂の完成時期（昭和11年11月）などにもちなみ、平成15年に創設

※2 ①参加資格のオープン化、②建築関係団体との協定に基づく審査委員の選定、③技術提案書を重視した審査、④公開ヒアリングなど審査過程を透明化した4つの特徴のあるプロポーザル方式

※3 令和3年7月改定の「公共建築工事の発注者の役割解説書（第三版）」より引用